

とよた市議会 だより

9月市議会
定例会号
平成23年10月15日

ファイルNo.
107

市民生活の安全と平穩の確保に向け基本事項を定めました

暴力団排除条例を制定

小中学校の老朽化した机と椅子を更新し、教育環境を整備します

地域産材を使用した机と椅子を購入

ピックアップ
TOPICS
トピックス



とよたエコポイント制度が拡大

環境に配慮した行動の更なる促進を目指して

平成21年度から始まった「とよたエコポイント制度」が拡大されます。リサイクルステーションに資源を持ち込むと、12月からとよたエコポイントが発行されるようになります。また、市内8カ所のリサイクルステーションには、モデル的にペットボトル回収機が設置され、とよたエコポイントが発行されます。

●トップインフォメーション

市議会へ行こう!! ～市議会を体感しよう!～ …… ②

●議案説明・討論

条例の制定、財産の取得 …… ④

●採決一覧 議案審議結果 …… ⑤

●常任委員会 付託案件・請願・陳情を審査 …… ⑥

市政について問う!

●一般質問 23人の議員が質問 …… ⑧

●トピックス
地域市議会報告会・市民シンポジウム …… ⑫



Let's
GO!

市議会へ 行こう!!



第2回 市議会を体感しよう!

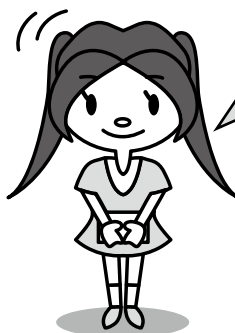
こんにちは、皆さん。
6月定例会号では市議会のしくみについて
ご紹介しました。
今回は私と一緒に市議会を体感しましょう。



市議会Q&A

8月25日にオンエアされたラジオ・ラビートでのレポートの様子を再現しています。

A 傍聴受付・傍聴券発行



レポーター

傍聴の受付手順や、議場を案内していただきます。
まず傍聴の手順について教えてください。

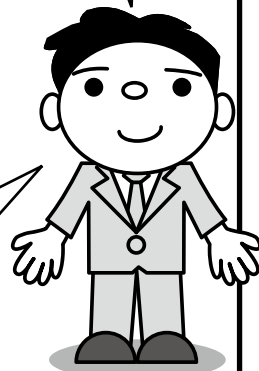
まずエレベーターで南庁舎8階に上がっていただくと
傍聴受付(写真A)がございます。
こちらで受付簿に氏名、住所を記載していただきます。
傍聴券と当日の資料が渡されますので、それを持って
傍聴席へお入り下さい。

ではさっそく傍聴席へ入ってみたいと思います。
議場にはたくさん席がありますが、配席について教え
て下さい。

B 議長席、質問席



正面が議長席で、その向かい側に議員席があります。
議員席の前の半円のテーブルは、議員が一般質問を
行う質問席です。議長席の左右の席は、市長をはじめ
職員の席です。(写真B)



私たちは議員と同じ向きで議会の傍聴が出来るんです。





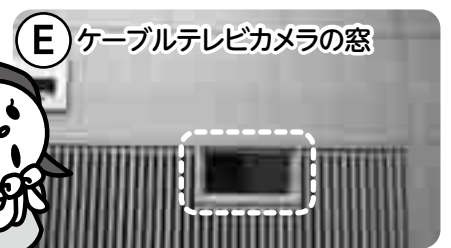
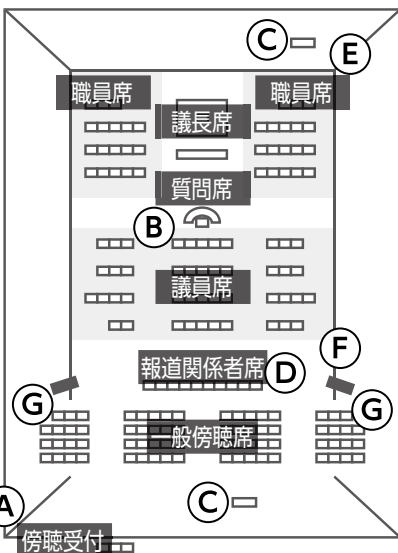
ケーブルテレビで議会中継を観たときには気がつかなかったのですが、あのデジタル時計のような物は何ですか。

あれは議会に出席している議員の数と、現在質問をしている議員の残り時間を表示する表示盤(写真C)です。議員は、残り時間を確認しながら質問を行います。

傍聴アンケートのご意見をもとに、傍聴席には中継モニター(写真G)が2台設置されています。このモニターには前から撮影しているカメラ(写真E)の映像が表示され、質問者や答弁者の顔がより見やすくなり、質問項目も字幕テロップで表示されます。今後も、市民の皆さんにわかりやすい議会運営を推進していきます。



傍聴席からは、こんなものが見えます。



傍聴席での注意事項

議場は声などが響きやすくなっています。議事の妨げにならないよう大きな音を立てたり、拍手をしたり、また飲食、喫煙、携帯電話の使用は禁止です。



議会情報配信中

議会の様子をホームページやケーブルテレビでもご覧いただけます。

また、毎月第4木曜日には、市議会PR番組「市議会の扉」をエフエムとよた78.6MHz(ラジオ・ラビイト)でオンエア中!!

こちらも是非お聴き下さい。

「市議会の扉」今後の放送予定

- ◎ラジオ・ラビイト 78.6MHz
- ◎放送時間/毎月第4木曜日 13:00~13:10
- ※再放送時間/翌週日曜日 8:45~8:55
- 10月27日(木)「予算・決算って何?」
- 10月30日(日)「予算・決算って何?」(再放送)
- 11月24日(木)「シンポジウム来場者インタビュー」
- 11月27日(日)「シンポジウム来場者インタビュー」(再放送)





条例の制定・改正、財産の取得など18議案を議決

	主な案件名	内容
条例の制定	【第81号】 暴力団排除条例	市、市民及び事業者が一体となって暴力団の排除を推進します。市民の安全で平穏な生活を確保し、市内の事業活動の健全な発展に寄与するため、豊田市からの暴力団の排除に関し、基本理念を定め、市、市民及び事業者の責務を明らかにするとともに、市が暴力団の排除のために実施する施策の基本事項等を定めるものです。
財産の取得	【第96号】 児童生徒用机及び椅子	小中学校の児童生徒が使用する机・椅子を購入します。これは、年数が経過し老朽化した机や椅子を更新するとともに、多様な授業形態や教材などに対応できる規格の机に替えていくという目的で順次行っているものです。また、地域の森林保護、林業振興、活性化にも寄与できるよう、机の天板や椅子の座面などには豊田市産の木材を活用しています。

討 論

諸 派 根 本 美 春

議案第95号は、市の住宅マスタープランでは、空いた土地を利用して住宅戸数を増やす予定はないということであるが、戸数を増やさない限り、市営住宅の入居待機は一向に解消できないままである。今後、建て替えが必要な市営住宅においては、増築の計画と、一方では、民間アパートの空き部屋が多い現状から、民間アパートの借り上げを含め、市民の住まいの確保のため、これらの施策が必要であることを意見として申し上げ、賛成。

承認第2号は、払いたくても払えないほど、市民の負担能力を超える高い保険税額のまま執行された点など認められず、反対。

自民クラブ 神谷和利

議案第90号は、現在行っている市街化調整区域における地区計画を活用した民間による住宅開発の推進は「持ち家世代の市外流出対策」としては不十分であると考えているが、認可までの期間短縮や事務の効率化などによって民間の宅地開発がさらに推進されることを期待し、賛成。

承認第1号は、経済状況ならびに市税収入が厳しい中、豊田市版プライマリーバランスの黒字化に向けた制限の解除や支出の最適化に向けた取組などを行い、健全な財政構造を保持し多方面にわたって財務体質の強化が図れたものと評価し、賛成。

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各党派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

※発言順に記載

市民フォーラム 吉野博子

議案第81号は、豊田市暴力団排除条例によって市と市民が一体となり暴力団排除を推進することで安全で平穏な市民生活を確保するものである。今後さらに市民や事業者の暴力団排除の意識を高め、県や市が連携・協力することを期待し、賛成。

議案第91号は、「平成23年度豊田市一般会計補正予算」低炭素社会モデル地区推進費について、民間企業の参画誘導や官民連携の取組の見える化、モデル地区内での再生可能エネルギー活用、PRパビリオンやITS設備との連携強化などを期待し、賛成。

公明党 佐藤恵子

議案第81号は、豊田市暴力団排除条例の施行により市民生活の安全と平穏の確保と事業活動の健全な発展に寄与すると評価できる。条例施行にあたってマニュアル作成や職員研修など万全な体制を敷くことを意見し、賛成。

承認第1号、平成22年度一般会計決算における次世代育成推進費 幼児版の子どもの権利プログラム・モデルプログラムの作成について、幼児期から子どもの権利について理解することは生涯を通じて人権尊重の規範となること、幼児から大人まで段階に応じて子どもの権利を学習する機会が整備されたことを評価し、賛成。

諸 派 岡田耕一

議案第89号は、豊田市有料駐車場条例の一部改正に関して民間管理制度を導入するものであるが、今後は指定管理者制度の下、地元で管理の一部を担ってもらうなど地域に愛されるパークアンドライド駐車場として活用されることを期待し、賛成。

議案第96号は、老朽化した児童生徒の机と椅子の更新にあたって、適切な交付金活用をはじめ、地域産材を使用したものであること、新JIS規格のものであることなどを評価する。新JIS化率100%の目標年次である平成29年度からの前倒し整備や100%地域産材となることを期待し、賛成。

諸 派 青山さとし

議案第97号は、豊田地域医療センター統合画像管理システム等の購入によって市内の病院の連携を図り、セカンドオピニオンなどへの活用も視野に入れるとともに、これまで以上に安心して素早く診療・診察が受けられることを期待し、賛成。

承認第2号は、一般財源からの繰入などを行っている国民健康保険特別会計について、非正規雇用の増加や超高齢化問題が背景にあるものの、まずは保険料をしっかりと払ってもらう必要があると考える。納税の確保や医療費適正化への取組を進めるとともに、市民の健康な体づくりをサポートする等、国民健康保険特別会計の負担を軽減するよう要望を加え、賛成。



議案審議結果

※議案名など一部省略して記載しています。

9月市議会定例会に提出された案件		採決結果	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く																
			自民クラブ 28名(1名欠席)		市民フォーラム 9名		公明党 4名		諸派 4名(1名欠席)										
			賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対									
◆議案																			
第81号	暴力団排除条例	原案可決	27	0	9	0	4	0	3	0									
82	市税条例等の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	2	1									
83	都市計画税条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0									
84	事業所税条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0									
85	伝統的建造物群保存地区保存条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0									
86	スポーツ振興審議会条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0									
87	食肉センター条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0									
88	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正条件	//	27	0	9	0	4	0	3	0									
89	有料駐車場条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0									
90	地区計画等の区域内における建築物制限条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0									
91	平成23年度一般会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	2	1									
92	工事請負契約の締結(市立野見小学校校舎増築工事)	//	27	0	9	0	4	0	3	0									
93	// (食肉センター豚専用と畜場改修工事)	//	27	0	9	0	4	0	3	0									
94	// (猿投公園野球場スコアボード改修工事)	//	27	0	9	0	4	0	3	0									
95	// (市営美和住宅建築工事(第2期・C棟))	//	27	0	9	0	4	0	3	0									
96	財産の取得(児童生徒用机及び椅子)	//	27	0	9	0	4	0	3	0									
97	// (豊田地域医療センター統合画像管理システム等)	//	27	0	9	0	4	0	3	0									
98	// (小型動力ポンプ付き積載車)	//	27	0	9	0	4	0	3	0									
◆同意																			
第5号	教育委員会委員の選任(新任:神崎恭紀氏)	同意	27	0	9	0	4	0	3	0									
◆報告																			
第8号	経営状況の報告(豊田市土地開発公社はじめ23法人)																		
9	専決処分の報告(損害賠償額の決定9件、訴えの提起8件、工事請負契約の変更1件)																		
10	平成22年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告																		
11	専決処分の報告(和解の成立6件)																		
◆請願																			
第1号	愛知環状鉄道保見駅にエレベーターの設置を求める請願書	不採択	0	27	0	9	0	4	1	2									
◆陳情																			
第5号	定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度拡充を求める陳情書																		
6	私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情書																		
7	愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書																		
8	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書																		

承認案件

平成22年度決算状況の審査を行いました。16件の一般・特別・企業会計決算が承認案件として提出され、審査の結果、一部案件(*)を除き、全会一致で妥当と認められました。

第1号	平成22年度 一般会計決算	7	平成22年度 卸売市場特別会計決算	13	平成22年度 財産区特別会計決算
2	// 国民健康保険特別会計決算	8	// 老人保健特別会計決算	14	// 簡易水道事業特別会計決算
3	// 食肉センター特別会計決算	9	// 農業集落排水事業特別会計決算	15	// 後期高齢者医療特別会計決算
4	// 都市計画事業土地区画整理特別会計決算	10	// 水道水源保全事業特別会計決算	16	// 水道事業会計決算
5	// 分譲住宅建設事業特別会計決算	11	// 母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計決算		
6	// 公共下水道事業特別会計決算	12	// 介護保険事業特別会計決算		

※第1号、第2号、第12号、第15号にいずれも1人の反対がありました。



9月7日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、6つの常任委員会で行いました。
委員会の審査内容を、主な質問と答弁に要約して紹介します。

産業建設 委員会

9月14日、付託された5議案を審査し、議案のすべてを承認し、請願1件は不採択としました。

【第90号】 豊田市地区計画等の区域内における建築制限条例の一部を改正する条例

質問 東保見山洞地区計画のある東保見町自治区は、既存の84世帯の地区に35区画が新規開発された場合、今後の自治区運営に支障をきたさないか心配されるが、行政としてはどのようにかわっていくのか。

答弁 市としては、既存のコミュニティが維持できるように、事業者に対し自治区への相談や説明会を行うように指導しており、事業者が説明会を行った場合には、そのつど報告を受け、地元調整の内容も確認している。また、地区計画を定める前に事業者と自治区との調整が適切にできた旨を自治区長に確認をし、自治区長立会いのもとで市が主催する説明会を行い、地区計画の手続きを進めている。

【第95号】 工事請負契約の締結
(豊田市営美和住宅建築工事第2期・C棟)

質問 シルバーハウジングは一般の住戸と比較してハードの面でどのような違いがあるのか、また利用料で差はあるのか。

答弁 造りの違いでは玄関が使いやすい引き戸であり、各部屋には緊急ブザーを設置し、緊急時に外へ知らせると同時に、昼間は東山のデイサービスセンターに、夜間は老人ホーム豊田苑へ緊急通報が入っている。また、オール電化住宅になっており、生活援助員を派遣し、入居者の緊急時の対応・生活相談等のサービスを行っている。そのサービスについては、所得に応じて0円から4,900円の費用を負担していただいている。

環境福祉 委員会

9月15日、付託された2議案を審査し、議案のすべてを承認しました。

【第88号】 豊田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

質問 災害弔慰金の費用負担の割合はどのようになっているのか。

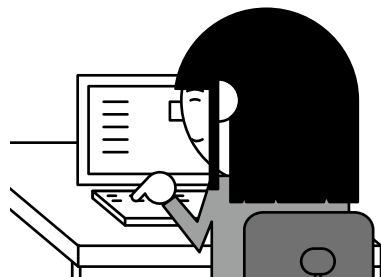
答弁 国が2分の1、県と市がそれぞれ4分の1を負担する。

【第97号】 財産の取得
(豊田地域医療センター統合画像管理システム等)

質問 新システム導入による職員の研修はどの程度必要か。また、旧システムから新システムへの移行スケジュールはどのようになっているのか。

答弁 統合画像管理システムについては、昨年度、既に導入しており、あらたな研修はおこなわない。生理検査管理システムと病理検査管理システムについては、正規職員17名と臨時職員10名に対して、半日の研修を個別に2回程度実施し、生理検査管理システムについては、医師4名に対しても操作研修を行う。

また、12月までに細かな運営設計を協議、決定し、1月以降は機器を搬入してデータの移行作業、検査機器と各システムとの通信接続テスト、電子カルテとの連動テストなどを順次実施し、3月中旬頃、すべてのシステムを同時に切り替える予定である。



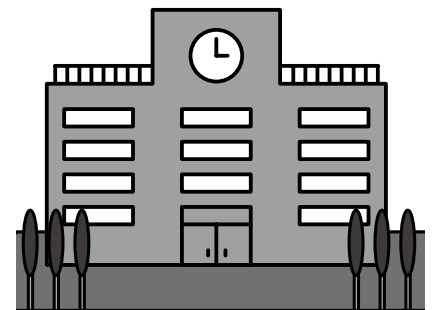
教育次世代 委員会

9月16日、付託された5議案を審査し、議案のすべてを承認しました。他に陳情4件を報告しました。

【第92号】 工事請負契約の締結
(豊田市立野見小学校校舎増築工事)

質問 国道301号拡幅により減少した小学校の土地面積と新たに購入した土地面積、金額及び時期はどのようか。

答弁 減少する土地面積は約600平方メートルで、新たに購入した土地面積は約3,300平方メートル。平成20年度に土地開発公社が取得し、翌年度、約1億3,300万円で買い戻しをしている。



【第94号】 工事請負契約の締結
(猿投公園野球場スコアボード改修工事)

質問 スコアボード本体に多額の費用がかかり、地元業者への経済的効果があまりなかったと聞いているが、どのような入札を行ったのか。

答弁 施工体制確認型 総合評価方式による簡易型総合評価方式で実施し、工事の工程管理、施工管理及び安全管理について、企業の技術力、信頼性及び社会性について評価した。また、契約金額に占める製品代が非常に高いものと事前に聞いていたので、地元企業の育成という観点よりも技術的な側面だけを考慮して入札を行った。



委員会

生活社会 委員会

9月20日、付託された1議案を審査し、承認しました。

【第98号】財産の取得
(小型動力ポンプ付き積載車)

質問 本年6月定例会で購入した消防ポンプ自動車の更新基準は12年から15年ということであったが、今回購入する消防団の小型動力ポンプ付き積載車の更新基準年数と6台の更新車両の使用年数は何年だったのか

答弁 小型動力ポンプ付き積載車の更新基準年数は16年から18年としている。基準年数に幅があるのは、予算の平準化をはかり、計画的に更新していくためである。なお、今年度更新する6台については、すべて平成6年9月に初年度登録されており、使用年数は今年度末で17年となる。

企画総務 委員会

9月21日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを承認しました。

【第81号】豊田市暴力団排除条例

質問 条例を制定すれば暴力団を排除できるというものではない。今後、市として、暴力団を排除するための具体的な施策をどのように進めていくのか。

答弁 具体的な施策については検討段階であるが、今後、市民や警察等の関係機関と協議をしていく中で、有効な施策があれば、ぜひ市として進めていきたい。

【第84号】豊田市事業所税条例の一部を改正する条例

質問 申告書の不提出及び不申告に係る過料の上限額を引き上げ、正当な事由がなく申告書を申告期限までに提出しなかった場合の過料を新設することだが、なぜ今改正するのか。また、なぜ罰則を強化するのか。

答弁 罰則規定の強化については、平成22年度及び平成23年度の税制改正において、国税の見直しが行われており、その内容等を踏まえ、また、社会経済状況の変化に対応して税制への信頼の一層の向上を図るという観点から、事業所税を含む地方税の罰則規定の強化についても平成23年度の税制改正大綱に盛り込まれている。地方税法上は、平成23年6月30日に現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るための地方税法等の一部を改正する法律が公布されており、この中で罰則強化の規定が整備されている。これに伴い、本市においても条例で整備する必要がある規定の改正を行うものである。

予算決算 委員会

9月8日から26日にかけて付託された補正予算1議案と決算案件16件を審査し、すべての案件を承認及び認定しました。

【第91号】平成23年度
豊田市一般会計補正予算

質問 とよたエコシールに代わる制度として、平成21年度から導入されたエコポイント制度を拡大するものだが、制度拡大の意図と目的は何か。

答弁 とよたエコポイント制度の3つの課題を解決するための補正であり、1点目として、エコファミリーカードの発行により、ポイントがためられるカードを明確化し、豊田市のオリジナル制度であることを市民の皆様を知っていただくこと。2点目として、これまでのポイント発行は、おいでんバスの利用や環境学習施設への来館といった限られたメニューのみだったが、リサイクルステーションへの資源持込みに対し発行することで、多くの方が日常的に環境配慮行動に参加できるようにすること。3点目として、貯めたポイントを交換できるようにすることで、還元メニューの魅力をアップさせ、制度への参加意欲を促すことである。今回の制度拡大により、市民の皆様の環境配慮行動がさらに促進されるとともに、リサイクルステーションの利用拡大によって家庭系資源物の回収増加、分別の徹底、燃やすごみの減量化につながる事が期待される。

【承認第1号】平成22年度
豊田市一般会計決算

質問 平成22年度の市債借入において、豊田市版プライマリーバランス黒字化維持の制限を解除されたが、本市の財政にどのような影響を及ぼしたか。

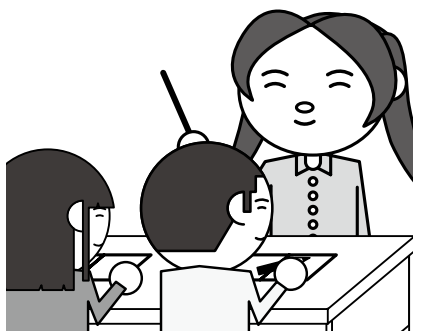
答弁 平成22年度決算における公債費や将来負担比率などの数値から見ると、本市の財政状況に直ちに悪影響を及ぼしたとはいえない状況ではある。しかし、市債償還において制度上、元金償還を原則2年間据置いているため、元金償還が始まれば、公債費が増加し財政状況に影響を及ぼすこととなる。

質問 豊田市独自で拡大した少人数学級編制の成果と課題及び今後の見通しはどのようなか。

答弁 成果として1点目は、子どもへの声かけが増えるなど、学習や生活の両面においてきめ細かい指導ができるようになったこと、2点目は、子どもたちの学力について、1・2年生を40人編成で過ごした平成18年度の中学校3年生と、同じく1・2年生を35人編成で過ごした平成22年度の中学校3年生を比較し、全教科において成績の向上がみられること、3点目は、不登校児童生徒が減少していることの3点が挙げられる。

課題としては、少人数学級編制を1学年拡大することによって15学級程度の学級増となるため、市費准教員や非常勤講師の確保と余裕教室の少ない学校への対応が課題である。

今後は国や県の動向も注視し、小学校4年生から小学校6年生への順次拡大を考えている。





9月5日から7日にかけて、23人の議員が市政の方針や考え方などについて聞く「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。詳細については市議会ホームページ内の録画映像か、市役所市政情報コーナー（南庁舎1階）、中央図書館、コミュニティセンター、地区交流館に配布する12月下旬発行予定の会議録をご覧ください。

杉浦弘高

自民クラブ

●市長の政治姿勢

質問 次の市長選への立候補の考えは

平成24年2月に行われる市長選に鈴木市長は立候補するのか。また、市長の政治信条は。

答弁 市長

自らの「分」として3期までとの思いから、次の市長選には立候補しない。市長に就任して以来、3期にわたり各方面から力強い支援をいただいたおかげで今日があることを、改めて深く感謝申し上げる。今は市長としての仕事を誇りに思い、満足をしている。市政については道半ばのものも軌道に乗せたものもあるが、これからも市民と共働して本市がさらなる発展を遂げられるよう願っている。残りの任期もしっかりとその職務をまっとうする。

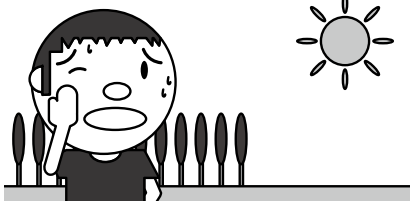
鎌田ひとみ

公明党

- 子育て環境の充実
- 子どもの健康・安全対策

質問 小中学校における熱中症対策

今年の夏は、6月下旬から暑い日が続き、記録的猛暑と言われた昨年を上回るペースで熱中症の発症が増え続けた。本市の学校現場での熱中症対策について、熱中症の症状のあるときなどに静養する保健室へのエアコンの設置や、普通教室への扇風機の設置など、施設における予防対策はどのようか。



答弁 教育行政部

保健室へのエアコン設置は平成5

年度から始めており、平成21年度にすべての小中学校への取り付けを完了している。普通教室への扇風機設置については、今年度の教育委員会の点検評価の中で今後の計画的な設置について検討を進めている。

庄司章

市民フォーラム

●市政運営

質問 市長が思い描くリーダー像とは

本市を将来にわたって発展させていくために、これからのリーダーにはどのような資質が求められていると考えるか。

答弁 市長

最近では政治家としての側面を強調する首長が目立つように感じることもあるが、市長には政治家としての側面だけでなく、役所の組織を統率し、まちづくりなどの事務事業をマネジメントする役割や、市の経済や市民生活を常に気にかけて必要な施策を講じることができるリーダーシップが求められていると考えている。一党一派に偏ることなく、目線の先に常に市民を置き、市の将来像に向かって着実に市政を進めることが今の本市にとって最も重要である。

杉浦昇

自民クラブ

- 財政安定化に向けて
- 豊田市の産業復興施策
- 小中学校・こども園の夏の暑さ対策

質問 厳しさを増す経済情勢に伴う本市の財政見直し

回復の兆しが見えない世界経済や歴史的な円高により日本国内の景気はますます厳しくなると予想されるが、財政見直しについて市の見解は。

答弁 総合企画部

昨今の円高や東日本大震災を受け、本市の基幹産業である自動車産業

の今後の動向が不透明であることから、市税歳入の予測が困難となっている。加えて、市の財政に大きな影響を及ぼす国の動向も不透明であるため、財政見直しはさらに立てづらいつつ状況にある。後期実践計画の策定過程において、社会経済情報や税制改正など、最新の状況に注視しながら見極めていきたい。

三江弘海

自民クラブ

- 社会部所管4出資法人のホールディング化
- 矢作川の新しい外来魚

質問 本市が出資する4法人のホールディング化後の展望

平成17年の本市合併前に地域活性化の拠点施設として設置された(株)三州足助公社始め4法人が来年6月に経営統合しホールディング化するが、なし崩し的に合併へ移行するのではないかという懸念もある。今後の展望は。

答弁 社会部

経営統合によって安定的な経営基盤が構築できることにより、地域に対して一定の貢献ができると考えている。各法人の主体性を尊重する体制づくりは、大口出資者である本市が人材の選考に一定の責任を果たすことで担保されると考えている。また、合併などの検討もあった中で今回はホールディング化を選択しており、当分はこの体制で事業推進を行っていく。

板垣清志

自民クラブ

- 犯罪のないまちづくりの推進
- 土砂災害対策の推進

質問 昨年実施した防犯対策緊急プロジェクトの効果は

平成22年に実施された「防犯対策緊急プロジェクト」について、どのような効果があったか。



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

一般質問

答 弁 社会部

平成22年は重点罪種の発生件数が前年に比べ818件減少し、プロジェクトを新たに実施した小学校区の重点罪種の減少率は、市全体の減少率を上回る結果となった。重点罪種が減少した19小学校区のうち、減少率が30%以上の小学校区は7小学校区で最も高い小学校区では51%も減少した。また、深夜に発生しやすい「自動車盗」「部品ねらい」においても大幅な減少率が見られるなど、犯罪の減少への効果が現れたと考えている。

大村 義則 諸派

- 放射能汚染から子どもと市民の健康を守る対策を
- 障がい児の療育を支える体制の補強を

質 問 東日本大震災の被災地のガレキを受け入れる基準

原発事故の影響で、ガレキの中には大量の放射性微粒子により汚染されている可能性のあるものがある。仮に本市が被災地のガレキを受け入れるならば、ガレキが放射能に汚染されていないことを基準とすべきだと考えるが、市の見解は。

答 弁 環境部

被災地のガレキ受け入れに関しては、今後、国の基準が示されると考えている。その基準によって安全の確認ができた後に、国や県の指導のもと、周辺の自治体とも連携しながら、地元住民や市民、議会などの理解を得てガレキの受け入れをしていきたい。

吉野 博子 市民フォーラム

- 社会環境の変化と第7次豊田市総合計画

質 問 後期実践計画における市長の思いは

第7次豊田市総合計画策定以降の環境変化についての考えと、後期実践計画に対する思いは。

答 弁 市長

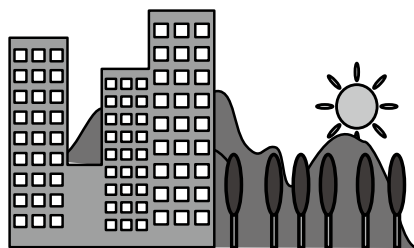
前期実践計画スタート直後に発生した世界同時不況によって本市の税収は大きく減少し、その後の議論や予算編成は難しい作業だったが、今後の施策においてこれらの経験が活きてきている。東日本大震災に加えて、急激な円高は、本市の製造業に多大な影響を及ぼし、市財政は厳しい状況にあるが、都市基盤と産業政策の拡充は必要であり、環境モデル都市に関する施策や防災対策も重点化を図りたい。今後も議論を重ね、よりよい実践計画となるよう注力していく。

稲垣 幸保 自民クラブ

- 新市建設計画の進捗状況と今後の見通し

質 問 新市建設計画における市民の意識変化は

市町村合併を機に、平成26年度までの計画として「新市建設計画」が実施されているが、これまでの取組の中で市民の行動や意向・意識に変化は見られたか。また、5年間の取組をどのように総括しているか。



答 弁 総合企画部

地域間交流、わくわく事業の実施、都市基盤の整備など新市建設計画に掲載された事業の推進によって共働によるまちづくりがいつそう進められていると評価している。平成21年度に行われた市民意識調査の「住みよさ満足度」は旧6町村では59.7%と前回の調査より3.7ポイント上昇していることも、市民の意向・意識の変化の表れだと思われる。

安藤 康弘 市民フォーラム

- 豊田市の産業振興策

質 問 新たな産業の創出に関し企業誘致活動の組織整備を

将来、本市がさらに発展するために必要なのは新たな産業の創出である。企業誘致活動を促進するための組織的な整備について、市はどのように取り組んでいるか。

答 弁 産業部

本市の産業拠点として整備が進められている工業団地のひとつである「西広瀬工業団地」の分譲が平成25年に控えていることもあり、企業誘致を展開するための組織体制の整備は検討すべき課題だと考えている。今年度を実施する企業進出意向調査の結果を踏まえ、注力すべき産業分野の企業を積極的に訪問できる体制づくりに努めるとともに、市長のトップセールスも視野に入れた企業誘致活動を展開していきたい。

原田 勇司 自民クラブ

- 農山村振興の取組

質 問 松平地区における観光まちづくりの動向

地域活性化、観光振興のためこれまで松平郷や王滝渓谷などの整備が進められてきたが、今後の松平地区における観光まちづくりと情報発信拠点の動向について、市の考えは。

答 弁 産業部

観光交流基本計画では、松平地区の観光まちづくりを推進するために「回遊ルートの魅力を高める拠点施設整備」が挙げられており、これまでも地域住民と時間をかけ検討を重ねてきた。今年度は拠点施設についての運営組織や運営方法などの詳細を含め、単なる展示施設ではなく情報発信や地域の活性化を担う施設として、地域住民と協議を進め事業の推進を図っていく。



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム 公明党：公明党豊田市議団

小島政直

公明党

●災害時要援護者の避難・救済支援

質問 地域防災力を高めるため
防災基本条例の制定を

従来の防災行政は地域防災計画を軸に行われてきたが、最近は防災基本条例を制定する自治体が増えている。防災基本条例は地域防災力を高める重要なツールだと考えるが、その制定について、市の考えは。

答弁 社会部

他の自治体の防災基本条例には、過去の災害履歴や災害に強いまちづくりを進める必要性、行政・事業者・市民の責務などについて規定されている。これらの考え方は本市の地域防災計画にも記載されているが、条例の制定によって防災をより市民の身近なものにできるという考え方もあることから、これまでの事例も踏まえ今後の研究課題とする。

岡田耕一

諸派

●本市における電力自由化への対応
●東日本大震災後の本市の対応

質問 公共施設の電気供給を
PPSに切り替えては

特定規模電気事業者(PPS)からの電気購入は電力のコスト削減に有効だと考えるが、本市の公共施設の全て、又は一部の電力供給をPPSへ切り替えてはどうか。

答弁 総務部

PPSからの電力供給は経済的メリットがあるものの、他の自治体の現状を見ると、全ての施設をPPSに切り替えるのは現実的ではないと考える。加えて、PPSとの契約が短期間で終了し再び中部電力と契約する場合、現在の契約継続割引が適用されなくなるリスクもある。今後はすでに実施している施設や他の自治体における効果の検証や実績の分析を進め、安定的供給の確保や環境負荷の軽減も含め判断したい。

山田主成

自民クラブ

●豊田市の今までにおける
住宅施策の検証

質問 市街化調整区域内の
地区計画実績と見直し

市街化調整区域の住宅施策として、平成20年度に市街化調整区域内地区計画制度が施行されたが、その事業実績と今後の見直しは。

答弁 都市整備部

平成20年度に市街化調整区域内地区計画制度が採用されたことを受け、平成21年度から、リバーサイド寺部地区を始め4地区(約6.5ヘクタール)で市街化調整区域内の地区計画が決定している。今年度はさらに堤町上町地区と東保見山洞地区の2地区(約3.2ヘクタール)の地区計画が決定される見通し。また、事前相談については現在9地区の候補が上がっている。

牛田朝見

自民クラブ

●教育行政計画
●教育委員会点検評価
●学習指導要領の改訂

質問 放射線を学ぶ授業における
教師への指導について

小学校では本年度から、中学校では来年度から完全実施される新学習指導要領に基づき、放射線を学ぶ授業が復活するが、教師への指導・研修はどのように行われているか。

答弁 学校教育部

新学習指導要領では中学校3年の学習の中で原子力を扱うことになっている。教師に対して放射線に特化した研修は行っておらず、東日本大震災後の状況を見ても放射線の正しい知識を身につけ、認識を深める学習は大切だと認識している。今後は、小中学生が原子力や放射線の正しい知識を習得できるよう各学校への指導をしたい。

桜井秀樹

市民フォーラム

●豊田市介護保険事業計画と
高齢者施策

質問 高齢者の救急時に備え
救急医療キットの導入を

他の自治体や本市の一部自治区では、高齢者施策の一環として緊急時に必要な医療情報などを保管する「救急医療情報キット」を高齢者に配布しているが、本市での導入の考えは。

答弁 福祉保健部

救急医療情報キットが多くの自治体で導入され、本市の一部自治区でも取組が始まっていることは認識している。しかし、さまざまな高齢者施策がある中で、災害時や救急時にどのような手法がもっとも効果的であるのかを見極めていく必要がある。今後、民生委員をはじめ地域で高齢者を支える関係者の意見を聞きながら、その方法・手段について検討していきたい。

加藤昭孝

自民クラブ

●中小企業への支援策
●文化行政

質問 中小企業へのビジネス
チャンス拡大事業

本市は自動車産業への依存度が高いため、将来を見据え、中小企業への支援を行う必要があると考える。新産業を育てていくための中小企業に対する今後の支援策をどう考えているか。

答弁 産業部

平成19年度から販路拡大や技術連携のマッチングを支援するビジネスチャンス拡大事業を実施し、企業の要望や強みを明確化するため詳細なヒアリングを行っている。今後はこれまでに蓄積した企業情報を最大限活用するとともに新規企業の開拓や再訪問による新たなニーズの発掘に努め、県外の企業をターゲットにした広域マッチングを実施し事業のさらなる拡充を図る。



一般質問

諸 派：会派所属無

根本美春 諸 派

- 放課後児童クラブ(学童保育)の充実を
- 子ども・子育て新システムで保育はどう変わる

質問 放課後児童クラブ施設に独立した休憩室を

放課後児童クラブのプレハブ施設には、トイレ以外の間仕切りがなく、体調の悪い子や障がいを持つ子が休める部屋が用意されていない施設が少なく、多くの施設では指導員さんの工夫で対処されている。新設されるプレハブ施設に、休憩ができる部屋を作る考えはあるか。

答 弁 子 ども 部

現在はすべての放課後児童クラブに間仕切りや簡易なベッドを用意し静養スペースを確保している。しかし、休憩ができる独立した部屋の必要性については認識しており、今年度、独立した部屋としての静養室の設置を予定している。

青山さとし 諸 派

- 公用車の実態
- 市民が安心して暮らせるまちづくりに向けた取組

質問 セーフコミュニティの取得・認証の考えは

WHOが中心となって推進している「セーフコミュニティ」は、多くの人たちの協働体制により事故やけがを防ぐ取組であり、近年これを行う自治体が増えている。この活動についての本市の捉え方と、取得の考えは。

答 弁 社 会 部

本市では「安心して豊かに暮らせる地域社会の実現に向けた共働のまちづくり」を進めており、地域予算提案事業や事業評価といった本市の地域自治システムは、セーフコミュニティの考え方と同じと捉えている。よって、本市では安全で安心なまちづくりの実現を地域自治システムの推進で目指す予定だが、今後、市民から取得の希望があれば検討していきたい。

山野辺秋夫 市民フォーラム

- 犯罪のない安全・安心なまちづくり

質問 深夜の青色防犯パトロール継続について

平成22年度から開始された「深夜の青色防犯パトロール」の効果は。また、青色防犯パトロールは、国の緊急雇用創出事業を活用したものであるため、平成24年3月で終了となる予定だが、今後継続する考えはあるか。

答 弁 社 会 部

平成22年中の犯罪が大幅に減少した要因として、深夜の青色防犯パトロールの効果があったと考えている。犯罪の減少は、警察活動、青色防犯パトロール、地域の自主防犯活動など、関係機関や団体などのさまざまな活動の相乗効果によるものであるが、犯罪件数が減少傾向にあることから、継続して深夜の青色防犯パトロールを実施していきたい。

加藤和男 自民クラブ

- 第7次豊田市総合計画後期実践計画
- 環境モデル都市の取組
- 健康づくりと地区スポーツクラブの活用

質問 プライマリーバランスの黒字化解除の継続を

厳しい財政状況を受け、平成22・23年度はプライマリーバランスの黒字化に向けた制限を解除し、必要な投資額を確保してきたが、税収の増加が見込めない現状では、引き続きプライマリーバランスの黒字化の解除を検討すべきと考えるがいかがか。

答 弁 総 務 部

プライマリーバランスの黒字化の解除は、財政構造の悪化を招く一因となるため慎重な判断が必要だが、財政状況が厳しい現状では、必要な投資額を確保する手段であることも認識している。平成24年度の市債借入は、事業精査や選択と集中、基金の有効活用を図り、なお必要があればプライマリーバランスの黒字化に向けた制限の解除も検討したい。

山口光岳 自民クラブ

- 健全な子供の育成を目指す教育の推進
- 安全・安心な地域づくりの推進

質問 同報系防災行政無線の機能と新たな災害情報伝達手法

現在、災害・緊急時の情報伝達手段として利用されている同報系防災行政無線の主な機能は。また、新たな災害情報伝達手法について市はどのように考え、取り組んでいるのか。

答 弁 社 会 部

主な機能は、屋外拡声子局のサイレンを鳴らして注意喚起を行う機能、スピーカーによる音声放送機能、屋外拡声子局から市役所への無線通信機能の3つ。新たな情報伝達手法については地域情報に即した手段を検討しているが、通信技術の進歩と頻繁に改正される電波法令などにより導入のタイミングを見極めることが難しい。現在は課題の洗い出しやコスト比較、導入方法の検討を行っている。

田代 研 公明党

- 「ライフライン」の電源機能

質問 (仮称)中央保健センターの太陽光発電について

現在建設中の(仮称)中央保健センターには太陽光発電システムが導入される予定だが、その電源は停電時の電源として使用可能か。

答 弁 総 務 部

停電など電力会社からの送電が途絶えた際に太陽光発電の電力を使用するための装置が設置されていないため、現状では停電時の電源として使用できない。(仮称)中央保健センターの太陽光発電システム導入を決定した当時は、太陽光発電装置の電力のみを使用するための切り替えが一般的には製造されていなかったが、今は設備の開発も進んでおり、可能ならば今後装置を設置するなどして停電時に備えたい。



○地域市議会報告会・市民シンポジウムを開催します

地域市議会報告会

第1回

- 日 時／平成23年10月22日(土)
午後1時～2時30分(終了予定)
- 場 所／藤岡南交流館 多目的ホール【定員:176人】
(豊田市西中山町後田96-1)

第2回

- 日 時／平成23年11月19日(土)
午後2時～3時30分(終了予定)
- 場 所／豊田市福祉センター 41会議室【定員:210人】
(豊田市錦町1-1-1)

- 内 容
- ★ 議会活性化の取組み
- ★ 9月定例会報告／質疑
- ★ 意見交換

※どなたでもご参加いただけますので、多くの皆様のご来場をお待ちしております。(申込不要 先着順)

市民シンポジウム

- 日 時／平成23年11月3日(木)
午後2時～4時(終了予定)
- 場 所／豊田産業文化センター 小ホール【定員:240人】
(豊田市小坂本町1-25)
- テーマ／議会活性化と議会・議員の役割、責務

内 容

第1部

- ★豊田市の議会活性化
「議会基本条例と議会活性化の取組み」

第2部

- ★シンポジウム
～榊原康政公ゆかり4市による議会活性化シンポジウム～
「開かれた議会を目指して!議会・議員の役割、責務」
【姫路市・上越市・館林市・豊田市】

★質疑

※どなたでもご参加いただけますので、多くの皆様のご来場をお待ちしております。(申込不要 先着順)

○東山スマートハウスを視察



「豊田市低炭素社会システム実証プロジェクト」の実験用モデル住宅(東山スマートハウス)が完成し、8月24日に視察を行いました。

このプロジェクトでは生活する人の

目線で、エネルギーを最も効率的に利用することを目指しており、太陽光発電設備や家庭用蓄電池、住宅用のネットワークシステム等について説明を受けました。

とよた市議会だよりの訂正

とよた市議会だより6月定例会号(平成23年7月15日発行)の7ページと12ページの記事に誤りがありました。訂正し、おわび申し上げます。

○7ページ【企画総務委員会の2つめの答弁】

正しくは「単独では研修を実施することが困難な団体もあるため、平成23年度から市職員対象の研修に、市協会公社等の正規職員も参加できるようにした。また、併せて、市職員対象の通信教育の受講についても、市協会公社等の職員から希望がある場合は受講できるようにした。今後も、市派遣職員引き上げ後の団体運営に支障がないよう、団体職員の人材育成に関する支援を行っていく。」です。

○12ページ【9月市議会定例会の予定】

正しくは「9月2日(金)開会予定」です。

★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会
ホームページで

「市議会だより」のバックナンバーや
詳しい会議録もご覧いただけます。

インターネット録画放送

豊田市議会 検索

<http://www.city.toyota.aichi.jp/fa00/fa01/main.html>
<その他>の「議会中継 録画映像」をクリック!



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル/121ch(デジタル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・ラプソート)生中継
チャンネル/78.6MHz

12月市議会定例会の予定

12月市議会定例会は
12月2日(金)開会予定です

※この冊子は、折込み「9月市議会定例会号」です。

※このページは裏面になります。
本紙から抜き取ってご覧ください。

ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp



豊田市議会は、古紙配合率100%の再生紙と大豆インキ、有害な廃液を一切排出しない水なし印刷方式を採用しています